

案内看板設置による渋滞対策

国道1号 藤枝バイパス(内谷IC~藪田東IC) 下り線

国道1号藤枝バイパス広幡IC付近下り線では、交通が集中する朝・夕のピーク時間帯以外にも、慢性的な渋滞が発生しています。

静岡国道事務所では、以下の2点を渋滞の原因と考え、渋滞対策のソフト対策を行います。



▶ 広幡IC周辺での渋滞原因と対策

- 1 上り坂での速度低下による渋滞
- 2 本線での車群形成による 合流部での渋滞



1 上り坂での速度低下による渋滞

渋滞発生メカニズム

緩やかな上り坂が続く区間では、ドライバーが勾配の変化に気づかず、知らない間に速度低下を起こしてしまうことがあります。先頭車両が速度低下を引き起こすと、後続車両は車間を確保するために減速するため、渋滞の原因となります。



藤枝バイパス広幡IC周辺の場合

広幡IC付近から潮トンネル内にかけては緩い上り坂となっており、潮トンネルを先頭とした渋滞が発生しています。潮トンネルに入る前は渋滞していたのに、トンネルを抜けたらいつの間にか渋滞が解消していた、という経験がある人も多いのではないのでしょうか。



写真 潮トンネル通過後の交通状況



写真 潮トンネル手前の交通状況

対策

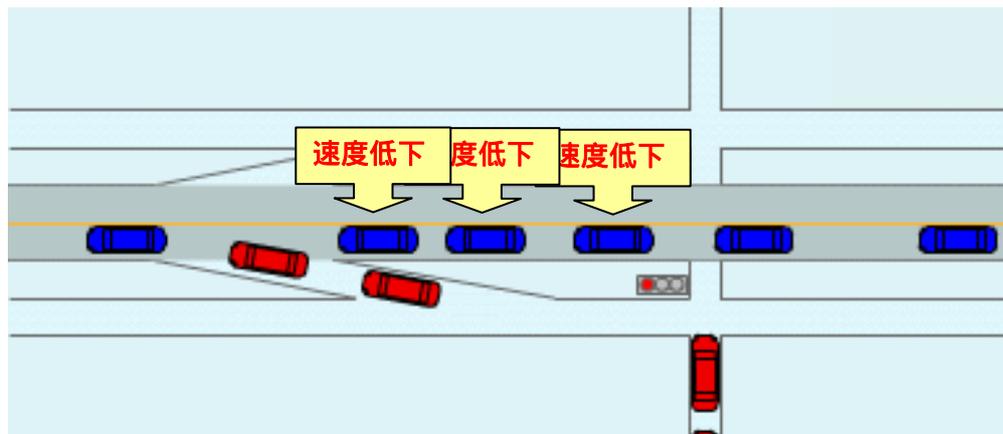
「しずこく」ホームページで速度低下注意を呼びかけると共に、現地の上り坂手前と、上り坂に、速度低下注意を促す案内看板を設置します。

ドライバーの皆様も、この看板をご覧になった時には、上り坂による速度低下に注意をした走行にご協力願います。



渋滞発生のメカニズム

下図のように本線走行車両の車間距離が短いと、結局インターチェンジの合流部で、合流車両分の車間を確保する為にブレーキを踏む事になります。そうすると後続車へどんどん速度低下が伝わり、渋滞を引き起こすことが考えられます。



藤枝バイパス広幡IC周辺の場合

藤枝バイパス広幡IC周辺の場合、下り線内谷ICから広幡IC間が、片側1車線の道路で追い越しができず、交通量も多いため、遅い車両の後ろなどに車群ができやすくなっています。車間距離が短い車群に、広幡ICからの車両が合流するため、速度低下が起き渋滞が発生しています。



対策

広幡IC合流部手前の本線上に、車間確保を促す案内看板を設置します。またランプ部には、スムーズな合流を促す案内看板を設置します。

ドライバーの皆様も、この看板をご覧になった時には、車間を確保し、スムーズな合流を心がけた走行にご協力願います。

